

次 第	顛 末
1 開 会	事務局 開会宣言
2 挨拶	教育長
3 協 議	<p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の協議内容について ①部活動指導員、外部指導者の要綱作成及び変更について ②部活動指導員の採用について ③活動場所の確保について ④財源の確保について <p>森座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議内容以外に、中学生の課外活動のあり方についての議論が国を含めて抜けている。どこかのタイミングで議論すべきである。 ・ まずは、部活動指導員と外部指導者の要綱について整理するということがよいか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。要綱を新設するものが部活動指導員で、現在策定されているものを外部指導者の要綱として明確に分けるために作成した案である。 <p>太田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会が任用するという事になっているが、部活動指導員が活動中事故にあった場合には、教育委員会が対応するという事か。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害補償については、労働者災害補償保険法の定めるところにより補償する。 <p>森座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのケガについてはどうか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動中なので、スポーツ振興センターの補償が適応される。 <p>森座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部指導員の任用について、専門的な知識を持ち、学校教育に関する十分な理解ができていくかというのはどのように図るのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 任用対象は、部活動指導の経験がある退職教員や、現在部活動を指導している指導員を考えている。 <p>森座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の研修会を行い資質の向上を図ることが必要である。運動部活動系の指導者養成プログラムを大学でも始めている。そのような外部の研修を条文に入れてはどうか。 <p>寺田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校設備の利用については、校長先生の指導監督のもとということが一つの条件となると思う。職務については、要綱にある10項目をすべてやらなければいけないのか。それとも、どれかが当てはまればよいのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職務としては、これらを想定しているが、一人ですべてをやるのかどうかはまだ決まっていない。 <p>寺田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケースとしては、部活動指導員が学生を連れて来て、一緒に指導することなど

	<p>が考えられる。いろいろなことを想定しておくと思う。</p>
大塚委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行について、吹奏楽は休みの日に音楽室で練習をすることではないかと思っている。ただし、担当の楽器により指導者が変わる。また、コンクールに向けての練習となるとまた違ってくる。吹奏楽ならどのようにやっていけるか思案しているが、なかなか解決策が見つからない。今後は顧問の負担軽減を含め、我々社会人が協力していくことで、中学生が継続して活動できるようにしていきたいと思っている。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の中に、市内中学校部活動一覧がある。理想は、全ての部活動に部活動指導員が付くことであるが、来年度の予算見込みでは、この中の11部活動での配置となる。充てられる人がいる部活動から配置となると思うが、今後は現在設置されている部活動が、可能な限り継続できる道を探る。ただし、中学校に設置されている部活動の種目数は、限られている。中学校の課外活動としての在り方となるが、地域にある資源を活用するといった他の選択肢はないかという考え方もできる。 ・今の中学校の部活動の問題点の一つに、大会が多すぎる事が挙げられる。また、平日1日、土日はいずれかを休みとすることとなっているが、例えば土曜日は学校で活動し、日曜日に何かクラブに参加するのであれば、活動量が減っていないということが起きる。事務局に質問であるが、まずは土日の部活動指導員を探していくという認識でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは土日の部活動の指導員を探していくということで良い。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が土曜日に部活動、日曜日に地域のスポーツクラブの活動へ参加するという事は良いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動としては、土日のいずれかの活動であるが、家庭の判断で、個人的に参加することは構わないと考えている。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員が校外の活動に生徒を連れて参加することはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そこも含めて議論していただいているが、校外に出ることは起こりえることと想定している。
梶田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の要綱に書かれた職務については、これで網羅されていると思うが、全部を担っていただくのは無理である。顧問と部活動指導員のコミュニケーションを密にとり、連携を図ることが大切であると思う。 ・事務局へ2点質問がある。1点目は、部活動指導員が会計年度任用職員として採用される際に試験のようなものがあるのか。2点目は、部活動指導員の勤務は、要綱では平日も記載されているが、現在検討する内容としては、土日のみ勤務という認識でよいのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員について、1点目の採用は、面接等何らかの形で試験をする方向である。2点目の勤務は、今後を見据えて平日も記載してあるが、今は土日のみを検討していただきたい。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員の要綱に顧問とコミュニケーションを密に図るといった趣旨の文言を入れる必要があるかどうか。それとも当然のこととしておくのか。顧問の先生との連携は必ずとらなければならない。 一般の方が部活動指導員となることも想定できる。要綱などで部活動指導員の形を整えながら、東松山として何ができるか考えていかなければならない。 共通認識として、今年うまくいったとしても、来年はうまくいかない可能性があるということを持っておくべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員の要綱には、顧問の先生と部活動指導員がコミュニケーションをとるという文言は入っていないが、連携しながら、指導していくという認識である。
吉澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> まずは部活動の枠組みの中で検討していただいているところである。将来的には、競技によって、部活動から地域クラブ活動に移行していくことはできるかもしれないと考える。様々な角度からご意見をいただきたい。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> 平日と休日で部活動の指導者が変わるので、指導内容が変わるかもしれない。教員と部活動指導員の連携を徹底させるためにも面接し、確認して欲しい。 人材確保の方法として、公募することは考えられる。また、関連団体に協力を依頼することも考えられる。
寺田委員	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団で、現在土日に指導をしている人は難しいだろうと思う。また、今後は学校にある部活動以外の競技も考えられる。個人的には、すでに定年を迎えた先生方を重点に考えていくのは良い案だと思う。ただすぐに人材が集まることはないと思う。
大塚委員	<ul style="list-style-type: none"> すぐには難しいが、所属している楽団のネットワークを利用して人材をピックアップしてくことはできるかもしれない。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> まずは人集めをする。集まらなかったら次の手を考えていくしかない。
寺田委員	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ協会として、声をかけていこうと思うが良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 声をかけていただいて構わない。詳細については、ご本人から直接事務局へ問い合わせするようお願いしたい。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は良いが、2年後、3年後にはやらないという方がいる可能性はある。今までは学校の先生方が部活動の顧問をしていたので継続できていた。スポーツに限って言えば、中体連を含め今までのやり方では継続できないと考える。 教育課程内と教育課程外の活動が合わさって子どもたちは成長していく。学校

	<p>が今までと同じような役割が果たせないとなると、地域の資源を活用することを考えなければならない。</p>
長澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私が部活動指導員となるならば、平日も勤務して、指導方法などについて顧問とコミュニケーションを取りたいと思う。将来的には、勤務日数を増やすためにも予算を増額し、部活動指導員が安心して準備が出来る体制を整えなければならないと考える。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、部活動指導員が配置されている学校へ、月 1 回合同部活動として活動することも考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には、子どもの数が減ってきたときに継続可能な形の一つの方法としてそのやり方も考えられる。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・土日は種目ごとに拠点校を設けて月 1 回合同で活動する先行事例がある。この方法も考えられる。
梶田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の人材確保について、教職員が担う場合には慎重に議論しなければならないが、事務局としてはどう考えているか。また、予算の財源について教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状教職員が土日に 3 時間以上部活動へ従事した場合には、手当が出ている。地域の活動と考えると、慎重に議論しなければならないが、部活動指導員の人数の確保の面から考えると任用について検討を進めなければならないと考えている。予算の財源は、国や県からの補助金と市の一般財源である。
梶田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を利用するのであれば、ぜひ配置したい。県の資料には、教職員の兼職兼業について書かれているので、東松山市の姿勢をはっきりさせたい。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度以降人材バンク作成とあるが、市としてはどのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは目標であるが、市としては人材バンクが作れないか検討している。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・広く人材を集めるには、人材バンクは不可欠だと思う。 (森座長より、終了時間の延長について委員に諮り、了承される)
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 3 の施設の活用については、活動場所としては基本的に学校施設を利用するというのでよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の利用は考えられるが、市内全中学校から生徒を集めるとなると、市にある既存の体育館や、文化センターなどを利用することも想定される。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・市にある施設を優先的に予約できるなどといったルールを整備や減免措置についての検討が必要である。ただし、一般利用者から批判があるということも考えられる。
寺田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の体育館を使うとなると、一般利用者の予約を取ることが難しくなり不安

事務局	<p>になると思う。中学校の体育館を使うことがベターであるとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用は、可能性として挙げさせていただいた。
寺田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週のように定期的に利用するとなると、他の利用者との調整が難しいと思う。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設の利用については、相談するしかないと思う。今時点では、公共施設の利用や民間施設の利用は可能性を協議するという認識でよろしいか。 <p>(委員一同了承)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に、保護者への費用負担について考えたい。アンケート結果からも負担は極力抑えたい。民間のスポーツクラブと同程度と考えることはできないと思う。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵丘スポーツクラブの活動について、前回の協議会で資料をお見せしたが、1回目の参加は無料体験としたので参加者が多かった。2回目以降は500円としたが、今まで部活動では金銭的な負担が無く行っていたこともあり、保護者の理解を得るのに時間がかかる。ただし、種目によってはクラブチームに比べると安価で参加ができるので、歓迎された。今年度この取組を始めて2年目となるが、一律で価格を設定することの難しさを感じている。
岡部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の立場からの意見であるが、スポーツ少年団の活動費は月1,000円程度である。部活動の金銭的な負担は、月2,000円となると高いと感じるが、1,000円台なら支払いについては理解がえられるかもしれない。ただし、部活動によっては、活動費用が高額となるものもあるので、種目によっては保護者の感覚にずれが起きることも考えられる。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在予算要求しているものには、活動にかかる費用が含まれているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は市で会計年度任用職員として採用した際の人件費のみである。今後の地域移行に備え、今から議論していただく必要があると考え、議題に挙げさせていただいている。
遠藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・話が戻ってしまうが、顧問の立場からすると部活動指導員の連携が難しいと考える。指導方法や、選手の起用についてもコミュニケーションをとりながら進めなければならない。コミュニケーション不足によるトラブルで、子どもたちに影響が出てしまうことはあってはならないと思う。 <p>(遠藤委員 他の公務のため退席)</p>
松崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・費用のことを考えると、保護者に負担を求めることはやむを得ないとする。 ・部活動指導員の募集については、条件を整備してから募集をしないとイケないと思う。例えば、応募できる対象者や勤務条件を示し、応募者が継続してやっけていけるか判断できるようにする必要がある。 ・どこの市町村でも教員のなり手がなくなっている。その理由の一つとして部

	<p>活動が挙げられている。部活動のことを後回しにしていると教員がさらに減るといふ悪循環となる。教職員のなり手の確保という観点からも、部活動については長期的に考えていかなければならないと感じている。地域で部活動指導員が見つかったとしても、その種目は近くの中学校に部活動が設置されていないこともあり得る。市として、拠点校部活動という考え方や部活動による学区変更を考えていく必要があるのではないか。引き受け手に不安を与えないためにも、条件整備をきちんとすることで、お声掛けした方が人材バンクへ登録できると思う。</p>
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・土日の地域移行は、平日の延長の部活動としての土日と考えるか、土日は部活動から切り離して他の活動と考えると対応が違ってくる。また、国は全てを移行することを考えている。 ・保護者からは、「土日だけ」とはどのようなことかという意見がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国からは、方向は示されているが、具体的な方法については定まっていない。子どもが今後減っていく中で、拠点校部活動ということも考えられる。また、拠点校部活動としても、土日だけなのか、平日はどうするのかといったことを様々な方向から今後の協議会ではご意見をいただきたい。
森座長 梶田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・合同部活動ということも視野に入れて委員の皆さんのご意見をいただきたい。 ・次回以降の議題となると思うが、財源についても考えていきたい。来年度は、土日の部活動の指導員について財源を確保できる見込みであると話があった。将来的に地域クラブへ移行となれば受益者負担となることはやむを得ないかもしれないが、私の意見としては、令和8年度についても、国からの補助金があるならば、ぜひ公費で賄っていただきたい。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の部活動指導員の候補者として、現在の外部指導者が挙げられるが、何名くらいいるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ44名である。
森座長	<ul style="list-style-type: none"> ・その中から部活動指導員として任用していくのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて現在の部活動指導員となることもあり得るが、新たな方を任用することや教員の兼職兼業も考えられる。今のところ、優先順位を付けては考えていない。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状ある外部指導者に対する謝礼は無くなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の外部指導者への謝礼は、今年度と同様に確保できるよう予算要求をしている。
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・報告となるが、顧問の先生が複数いる場合、今までは試合会場に複数で来るが多かったが、最近では交代で1人の顧問で引率に来ている部活動が増えてき

<p>寺田委員</p> <p>事務局</p> <p>森座長</p>	<p>ており、うまくご自身の時間を作っている方が出てきている印象である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の指導者と会う機会があり、部活動指導員の話を出す場合、必ずスポーツ少年団から人を出す必要があるのか。 ・必ず選んでいただくというわけではなく、協力できる方がいた場合はお願いしたい。 ・まとめとなるが、部活動の地域移行について、答えが出ることはなく、毎年見直し検討していく必要がある。現状は土日の部活動において何ができるかという議論をしていきたい。これにて座長の任を解かせていただく。
<p>4 その他</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の協議会の開催について、第3回は2月26日(水)に開催を予定している。 ・今年度も委員の方々に貴重なご意見等をいただきながら、課題とその解決策についても検討していきたいと考える。
<p>7 閉会</p>	<p>事務局：学校教育課長 久保田 慶一</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 7年 2月10日 署名委員 梶田 英司</p> <p>署名委員 遠藤 和宏</p>	